

調査船拓水による稚魚調査結果について

福島県水産試験場水産資源部
平成15年度事業報告書

1 部門名

水産業－資源管理－イシガレイ
分類コード 19-04-4200000

2 担当者

山田 学

3 要旨

本県の重要な漁獲対象資源であるヒラメ、カレイ類の発生状況を早期に把握することは資源管理上非常に重要である。このため、調査船「拓水」により浅海域(水深7,15m)において小型けた網(ソリネット)を用いた調査を実施しているが、平成15年にはイシガレイの幼魚(0歳)が多数採集された。

- (1) 平成15年2,3月に、浮遊期のものが磯部大浜(相馬市)で592尾、菊多浦(いわき市)で97尾採集され、平成10年の調査開始以来最多の採集尾数であった。
- (2) 4～7月には、底棲生活に入ったものが磯部大浜で15尾、菊多浦で48尾、夏井川河口前(いわき市)で30尾採集され、これらも過去の採集尾数に比べ多かった。
- (3) 8月以降には、例年同様ほとんど採集されなくなったが、これは成長に伴う漁具効率の低下、移動分散によるものと推測される。
- (4) これらの結果から、平成15年級のイシガレイは最近では良好な発生群と考えられる。この群は平成16年後半から漁獲加入するものと思われるが、今後の漁獲動向を注視し、採集尾数と加入水準の関係を明確にする予定である。

4 その他の資料等

なし